

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

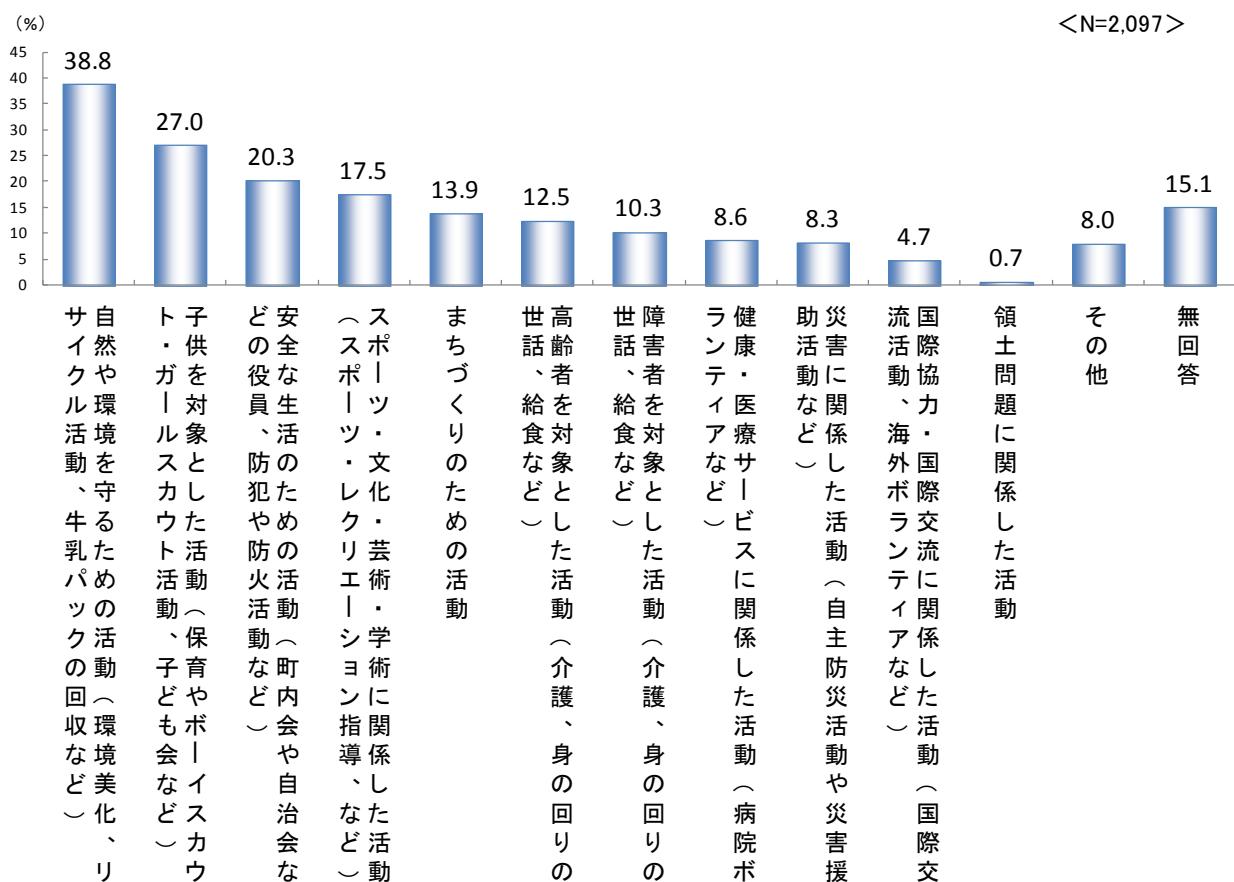
社会活動について

① 参加したことのある社会活動

参加したことのある社会活動では、「自然や環境を守るための活動(環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収など)」が38.8%と最も高く、次いで、「子供を対象とした活動(保育やボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など)」(27.0%)、「安全な生活のための活動(町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など)」(20.3%)となっており、地域などで参加を促す活動は認知する機会が多く、参加しやすくなっていると考えられる。

- 「自然や環境を守るための活動」、「子供を対象とした活動」では、男性より女性の参加経験者がやや多い。
- 「安全な生活のための活動」は、40代では31.7%と高い。
- 専業主婦(主夫)は、「子供を対象とした活動」(41.4%)、「安全な生活のための活動」(30.3%)への参加経験者が比較的多い。

Q21. 以下に挙げた社会活動のなかで、あなたが実際に参加したことがあるものをお選びください。
(○はいくつでも)



II. 調查活動

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

＜属性別＞

*サンプル数が30未満は参考値として掲載

※ ◎: 全体より 10% 以上高い、○: 全体より 5% 以上高い、▲: 全体より 10% 以上低い、△: 全体より 5% 以上低い

い

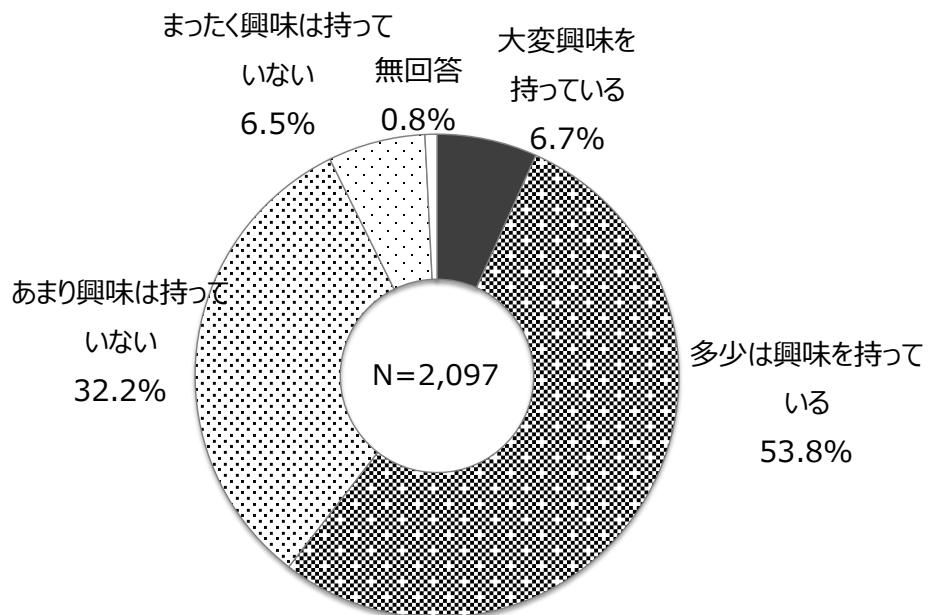
2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

② 社会活動への興味

社会活動への興味度は、「大変興味を持っている」は 6.7%だが、「多少は興味を持っている」を含めると 6 割以上が興味を持っている。

- ・ 北方領土問題の認知が高い人ほど、社会活動に興味を持っている。

Q22. あなたは、上記のQ21 で提示したような社会活動に対して、どの程度、興味を持っていますか？
(○は一つだけ)



II. 調査活動

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

<属性別>

		N	大 変 興 味 を 持 つ て い る	少 少 は 興 味 を 持 つ て い る	あ ま り 興 味 は 持 つ て い な い	ま つ た く 興 味 は 持 つ て い な い	無 回 答	「興 味 を 持 つ て い る 計 」	「興 味 を 持 つ て い な い 計 」	(%)
全体		2097	6.7	53.8	32.2	6.5	0.8	60.5	38.7	
性別	男性	1070	7.2	54.6	30.9	6.2	1.1	61.8	37.1	
	女性	1027	6.1	53.0	33.5	6.9	0.5	59.1	40.4	
年代別	20代	574	7.1	53.5	32.1	7.1	0.2	60.6	39.2	
	30代	790	6.5	52.2	33.3	7.2	0.9	58.6	40.5	
	40代	733	6.5	55.8	31.1	5.3	1.2	62.3	36.4	
性・年代別	男性20代	288	7.6	52.1	31.9	8.0	0.3	59.7	39.9	
	男性30代	405	7.2	54.8	30.1	6.9	1.0	62.0	37.0	
	男性40代	377	6.9	56.2	31.0	4.0	1.9	63.1	35.0	
	女性20代	286	6.6	54.9	32.2	6.3	0.0	61.5	38.5	
	女性30代	385	5.7	49.4	36.6	7.5	0.8	△ 55.1	△ 44.2	
	女性40代	356	6.2	55.3	31.2	6.7	0.6	61.5	37.9	
職業	公務員	123	9.8	52.8	29.3	6.5	1.6	62.6	35.8	
	経営者・役員	21	△ 14.3	▲ 42.9	◎ 42.9	△ 0.0	0.0	57.1	42.9	
	会社員(事務系)	351	6.0	△ 59.0	30.2	4.3	0.6	65.0	34.5	
	会社員(技術系)	228	6.6	△ 58.8	△ 27.2	6.6	0.9	65.4	33.8	
	会社員(その他)	359	6.1	53.8	32.9	5.8	1.4	59.9	38.7	
	自営・自由業	123	8.1	49.6	36.6	4.1	1.6	57.7	40.7	
	専業主婦(主夫)	333	5.4	56.8	30.9	6.3	0.6	62.2	37.2	
	パート・アルバイト	296	6.4	49.7	35.1	8.4	0.3	56.1	43.6	
	学生	114	△ 12.3	54.4	△ 27.2	6.1	0.0	△ 66.7	△ 33.3	
	その他	44	△ 0.0	△ 59.1	27.3	△ 13.6	0.0	59.1	40.9	
地域	無職	98	5.1	▲ 32.7	◎ 46.9	△ 14.3	1.0	▲ 37.8	◎ 61.2	
	北海道地方	90	3.3	△ 58.9	27.8	7.8	2.2	62.2	35.6	
	東北地方	139	3.6	△ 60.4	32.4	2.9	0.7	64.0	35.3	
	関東地方	752	7.8	51.2	33.1	7.2	0.7	59.0	40.3	
	中部地方	361	6.4	52.6	33.0	7.2	0.8	59.0	40.2	
	近畿地方	381	6.8	55.4	31.5	5.2	1.0	62.2	36.7	
	中国地方	115	7.0	53.9	31.3	6.1	1.7	60.9	37.4	
	四国地方	55	5.5	52.7	34.5	7.3	0.0	58.2	41.8	
Q1 .北方領土 問題が 存在するこ との認知	九州地方	204	6.4	55.9	30.4	7.4	0.0	62.3	37.7	
	問題について聞いたことがあり、問題の内 容も知っている	601	10.8	54.9	28.0	5.3	1.0	△ 65.7	△ 33.3	
	問題について聞いたことがあり、問題の内 容もある程度知っている	1120	5.1	56.9	31.4	5.9	0.7	62.0	37.3	
	問題について聞いたことはあるが、問題の 内容までは知らない	264	3.0	▲ 39.8	◎ 42.8	△ 14.0	0.4	▲ 42.8	◎ 56.8	
Q4 .北方領土 問題の 興味度	大変興味を持っている	324	◎ 20.7	57.4	▲ 17.3	3.4	1.2	◎ 78.1	▲ 20.7	
	多少は興味を持っている	1152	4.9	△ 62.5	28.0	3.7	0.8	△ 67.4	△ 31.8	
	あまり興味は持っていない	522	2.9	▲ 37.2	◎ 49.0	10.2	0.8	▲ 40.0	◎ 59.2	
	まったく興味は持っていない	97	△ 1.0	▲ 27.8	△ 40.2	◎ 30.9	0.0	▲ 28.9	◎ 71.1	

*サンプル数が 30 未満は参考値として掲載

※ ◎: 全体より 10%以上高い、○: 全体より 5%以上高い、▲: 全体より 10%以上低い、△: 全体より 5%以上低

い

II. 調査活動

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

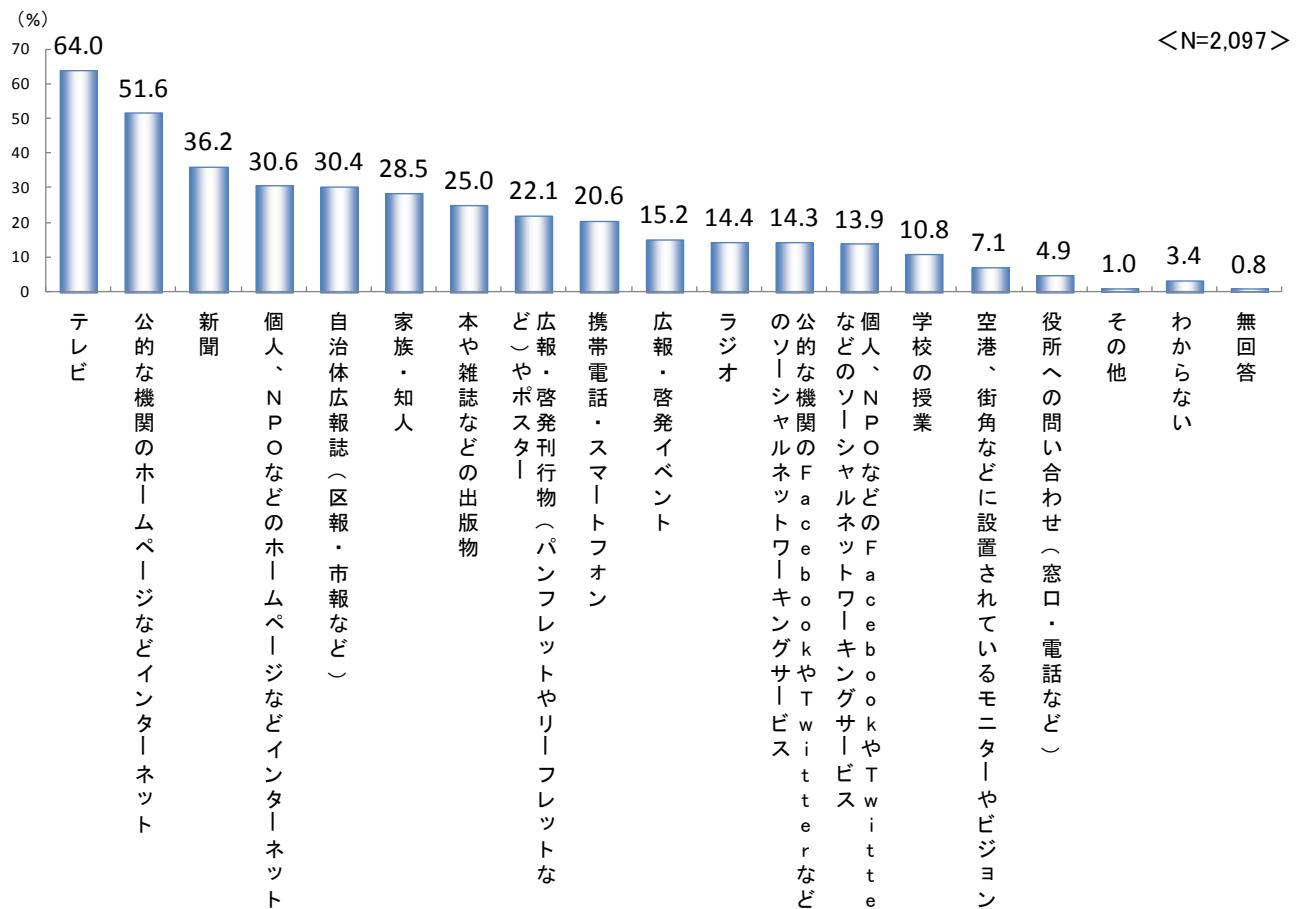
③ 社会活動についての情報収集方法

社会活動についての情報収集方法としては、「テレビ」(64.0%)、「公的な機関のホームページなどインターネット」(51.6%)が多く利用されている。

ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を利用した情報収集はいずれも1割程度とあまり行われていない。

- 20代では、「携帯電話・スマートフォン」を約3割が情報収集に利用しており、特に女性20代では4割近くが利用している。
- 40代女性では、「自治体広報誌(区報・市報など)」を4割以上が情報収集源としており、主婦(主夫)層が利用しているとみられる。
- 学生では、「公的な機関のホームページなどインターネット」を6割以上が、「個人・NPOなどのホームページなどインターネット」を4割以上が情報収集源としている。また、「携帯電話・スマートフォン」でも約3割が情報収集を行っており、インターネットを活用した情報収集を主にしているとみられる。

Q23. Q21で提示した社会活動のなかで、あなたが興味のあるものについて情報収集をする場合、どのようなものを通じて、情報収集しますか？以下のなかで当てはまるものをお答えください。(○はいくつでも)



II. 調査活動

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

<属性別>

		(%)																				
		テレビ	公的な機関のホームページなどインターネット	新聞	個人・NPOなどのホームページなどインターネット	自治体広報誌（区報・市報など）	家族・知人	本や雑誌などの出版物	広報・啓発刊行物（パンフレットやリーフレットなど）	携帯電話・スマートフォン	広報・啓発イベント	ラジオ	学校の授業	空港、街角などに設置されているモニターやビジョン	役所への問い合わせ（窓口・電話など）	その他	わからない	無回答				
	N																					
性別		2097	64.0	51.6	36.2	30.6	30.4	28.5	25.0	22.1	20.6	15.2	14.4	14.3	13.9	10.8	7.1	4.9	1.0	3.4	0.6	
性別	男性	1070	61.4	51.7	39.1	32.4	27.5	23.3	25.4	19.7	16.8	14.0	17.4	15.6	13.6	10.1	7.8	4.5	1.0	3.5	0.9	
性別	女性	1027	66.8	51.6	33.2	28.6	33.5	34.0	24.6	24.5	24.6	16.4	11.4	13.0	14.2	11.5	6.3	5.4	1.0	3.3	0.6	
年代別	20代	574	65.9	49.1	△ 26.8	34.0	△ 21.3	26.8	24.9	△ 16.2	△ 31.0	13.1	9.8	○ 20.2	17.4	○ 19.3	7.1	3.5	0.5	3.1	0.5	
年代別	30代	790	62.0	52.4	36.5	31.1	30.9	31.8	25.3	22.2	20.0	15.7	15.3	13.3	13.9	8.1	7.3	4.9	1.1	4.4	1.0	
年代別	40代	733	64.8	52.8	○ 43.2	27.3	○ 37.1	26.3	24.8	26.6	△ 13.2	16.2	17.2	10.8	11.2	7.0	6.7	6.0	1.2	2.5	0.7	
性・年代別	男性20代	288	66.3	50.0	34.4	○ 36.1	△ 21.9	24.0	26.4	△ 13.5	24.7	12.5	13.9	○ 22.2	17.7	○ 19.1	10.4	4.5	0.7	3.1	0.3	
性・年代別	男性30代	405	58.8	50.6	40.5	30.6	27.7	27.7	23.5	19.8	17.0	14.6	18.8	13.6	12.6	6.9	7.2	3.5	1.0	5.4	1.0	
性・年代別	男性40代	377	60.5	54.1	41.1	31.6	31.6	31.6	18.0	26.8	24.4	△ 10.6	14.6	18.6	12.7	11.7	6.6	6.4	5.6	1.3	1.6	1.3
性・年代別	女性20代	286	65.4	48.3	▲ 19.2	31.8	△ 20.6	29.7	23.4	18.9	○ 37.4	13.6	△ 5.6	18.2	17.1	○ 19.6	3.8	2.4	0.3	3.1	0.7	
性・年代別	女性30代	385	65.5	54.3	32.2	31.7	34.3	36.1	27.3	24.7	23.1	16.9	11.7	13.0	15.3	9.4	7.5	6.5	1.3	3.4	1.0	
性・年代別	女性40代	356	69.4	51.4	○ 45.5	△ 22.8	○ 43.0	35.1	22.8	○ 28.9	16.0	18.0	15.7	8.7	10.7	7.3	7.0	6.5	1.1	3.4	0.0	
職業	公務員	123	△ 55.3	53.7	39.0	29.3	○ 39.8	△ 22.0	24.4	26.0	▲ 9.8	15.4	13.0	15.4	△ 8.1	10.6	5.7	5.7	0.0	3.3	3.3	
職業	会社員・役員	21	▲ 42.9	○ 71.4	△ 26.8	○ 47.6	▲ 9.5	▲ 4.8	19.0	19.0	▲ 9.5	14.3	○ 20.2	17.8	○ 23.8	△ 8.4	△ 0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	
職業	会社員（事務系）	351	64.4	55.6	37.0	32.8	26.5	24.8	28.8	21.7	23.6	13.1	11.7	16.0	15.7	8.3	6.3	4.0	1.4	2.0	0.0	
職業	会社員（技術系）	228	65.8	46.5	35.1	29.4	26.8	28.1	23.7	△ 17.1	18.0	14.5	○ 20.6	13.2	13.6	7.5	11.8	5.7	1.3	2.2	0.9	
職業	会社員（その他）	359	67.7	46.5	37.6	27.3	△ 21.7	23.4	28.7	17.8	20.1	15.6	○ 20.1	14.2	13.9	9.7	7.2	3.6	1.1	3.1	1.4	
職業	自営業	123	△ 58.5	56.9	38.2	34.1	○ 36.6	32.5	24.4	25.2	△ 11.4	16.3	16.3	15.4	17.9	7.3	5.7	7.3	0.8	3.3	0.8	
職業	事業主婦（主夫）	333	○ 70.9	46.2	33.9	△ 23.7	○ 41.7	△ 38.7	23.7	24.9	24.9	20.1	11.1	12.0	15.3	11.1	8.1	6.0	0.9	3.6	0.3	
職業	パート・アルバイト	296	62.8	54.7	35.5	31.1	34.5	33.1	20.9	○ 27.4	25.0	15.5	13.2	14.5	11.8	10.5	5.7	6.4	0.3	3.7	0.3	
職業	学生	114	64.0	○ 63.2	37.7	○ 41.2	△ 24.6	26.3	26.3	19.3	○ 31.6	10.5	△ 6.1	19.3	16.7	○ 36.8	7.9	0.9	0.9	3.5	0.0	
職業	その他	44	65.9	▲ 40.9	○ 45.5	△ 25.0	29.5	○ 34.1	27.3	20.5	22.7	18.2	○ 20.5	18.2	13.6	11.4	4.5	0.0	2.3	6.8	2.3	
職業	無職	98	▲ 45.9	53.1	△ 27.6	○ 41.8	△ 24.5	△ 22.4	16.3	19.4	▲ 6.1	△ 4.6	△ 9.2	△ 6.1	△ 7.1	7.1	3.1	4.1	1.0	10.2	1.0	
地域	北海道地方	90	62.2	51.1	○ 43.3	△ 25.6	33.3	△ 21.1	25.6	○ 34.4	△ 13.3	○ 21.1	17.8	17.8	13.3	6.7	11.1	3.3	1.1	○ 8.9	0.0	
地域	東北地方	139	○ 72.7	47.5	○ 51.1	28.8	○ 36.7	30.2	28.8	23.0	18.7	13.7	18.7	14.7	8.6	△ 12.2	4.3	6.5	0.7	2.2	2.2	
地域	関東地方	752	64.1	55.1	△ 30.2	33.4	27.0	27.8	22.1	20.6	21.8	14.8	14.4	16.0	16.2	11.6	8.1	5.7	0.9	4.1	0.3	
地域	中部地方	361	65.1	49.3	39.6	29.6	29.4	26.9	26.3	28.5	21.9	18.8	13.6	16.3	12.5	11.4	8.6	5.0	4.4	1.1	3.0	0.6
地域	近畿地方	381	△ 58.8	52.8	36.7	31.2	○ 35.7	27.8	24.7	23.4	18.6	17.8	13.1	15.5	16.3	10.2	6.8	4.7	1.0	2.9	1.6	
地域	中国地方	115	64.3	△ 46.1	38.3	27.8	28.7	33.0	26.1	22.0	27.0	13.0	10.4	13.0	13.0	12.2	6.1	5.2	2.6	0.0	1.7	
地域	四国地方	55	67.3	52.7	36.4	30.9	29.1	○ 38.2	25.5	△ 14.5	18.2	14.5	12.7	16.4	14.5	10.9	7.3	3.6	1.8	1.8	1.8	
地域	九州地方	204	65.7	47.1	36.8	△ 25.5	30.9	32.4	27.0	21.1	25.0	14.2	12.3	11.8	11.8	12.7	7.8	2.9	0.0	2.9	0.0	
Q22.	大変興味を持っている	140	60.7	○ 67.1	40.7	○ 44.3	△ 48.6	○ 35.7	○ 33.6	○ 36.4	22.9	○ 31.4	○ 22.9	○ 28.6	○ 22.9	○ 19.3	○ 12.1	○ 16.4	0.7	0.7	0.7	
Q22.	多少は興味を持っている	1128	66.7	54.0	○ 43.6	31.7	○ 36.5	32.3	27.4	26.5	22.2	19.9	15.2	16.4	15.9	11.8	8.3	4.5	1.3	0.5	0.1	
Q22.	あまり興味はない	675	64.6	48.9	△ 27.7	27.9	△ 21.6	23.9	22.2	△ 15.3	18.7	△ 6.8	12.7	9.9	11.0	7.9	4.9	3.7	0.3	5.9	0.1	
Q22.	まったく興味はない	137	▲ 48.2	△ 33.6	▲ 14.6	△ 22.6	▲ 8.8	▲ 16.1	▲ 13.1	▲ 6.6	16.1	9.5	△ 4.4	△ 4.4	9.5	2.9	2.2	0.7	○ 17.5	2.9		

*サンプル数が30未満は参考値として掲載

※ ○: 全体より10%以上高い、○: 全体より5%以上高い、▲: 全体より10%以下低い、△: 全体より5%以下低い

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

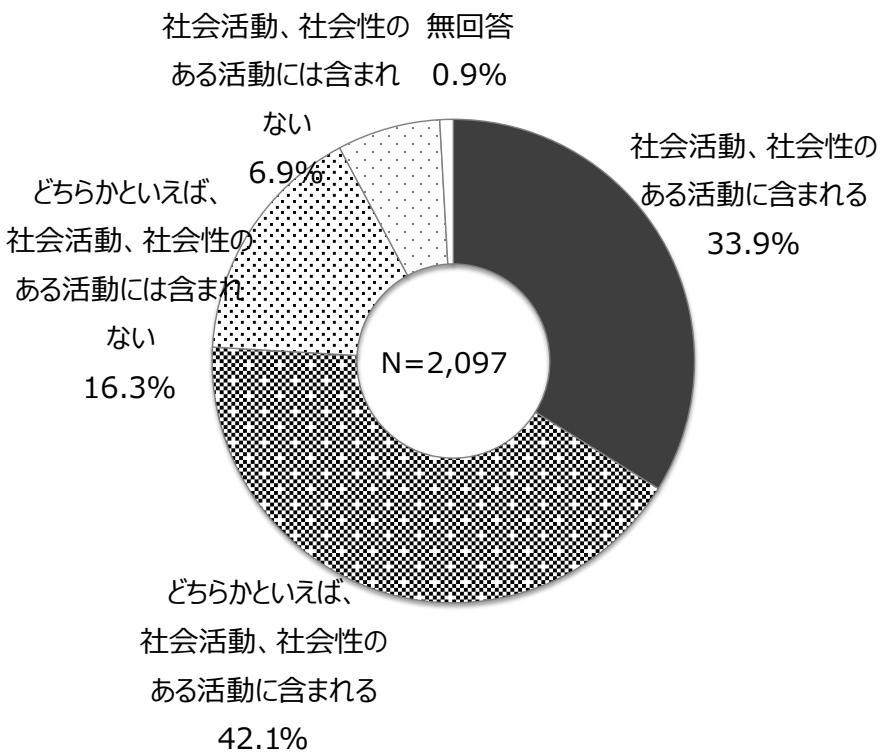
④ 領土問題に関する活動は、社会活動に含まれると思うか

領土問題に関する活動は、社会活動、社会性のある活動に含まれると思うかという問い合わせは、33.9%が含まれると回答している。

「どちらかといえば含まれる」という回答を含めると、7割以上が含まれると思っている。

- ・ 男女や年代での大きな差はみられない。
- ・ 北方領土問題の認知度、興味度が高い人ほど、領土問題に関する活動が社会活動だと認識している。

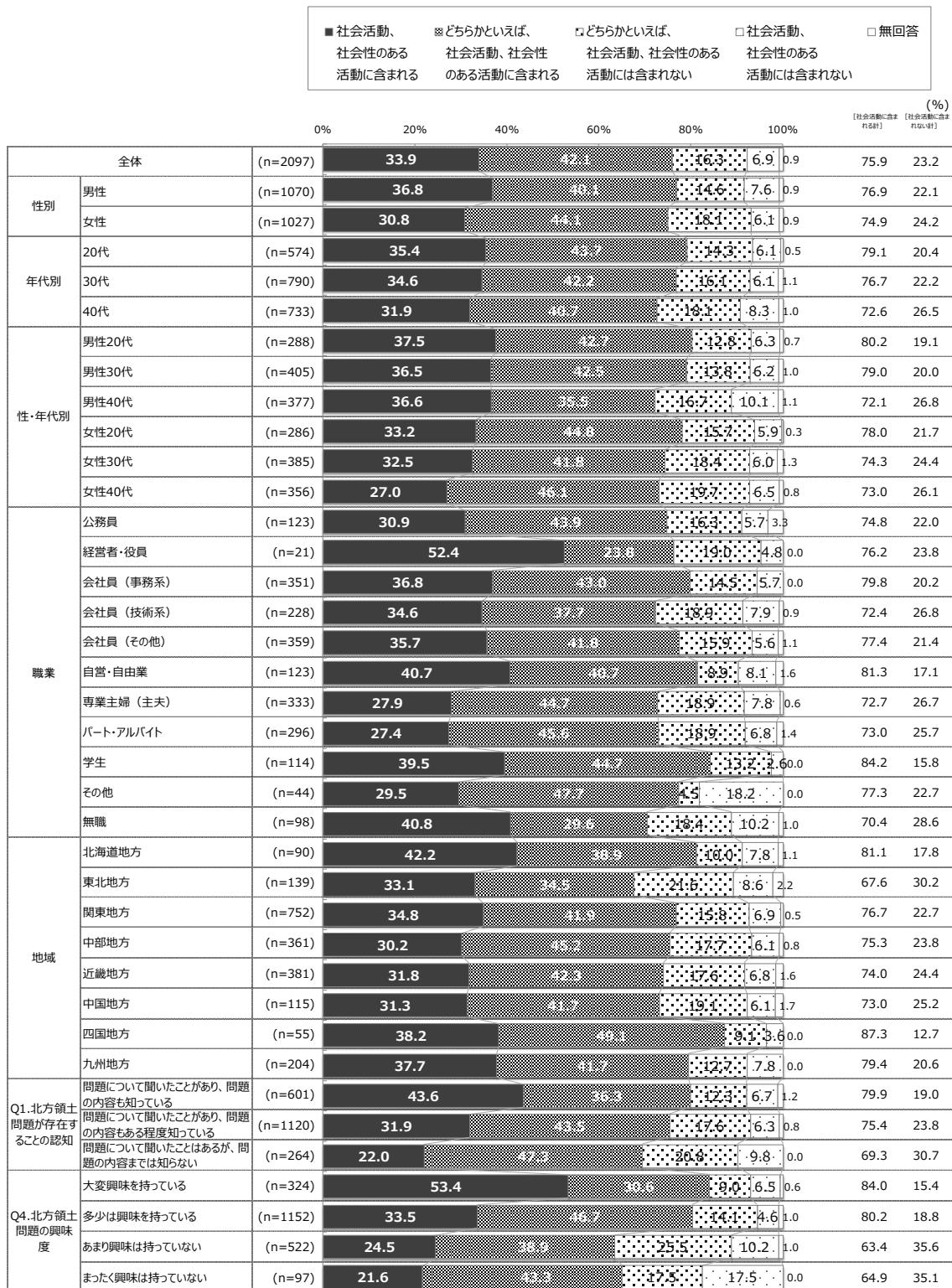
Q24. あなたは、「領土問題に関する活動」は、Q21で提示したような社会活動、社会性のある活動に含まれると考えますか？以下のなかであなたの考えに近いものをお答えください。（○は一つだけ）



II. 調査活動

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

<属性別>



*サンプル数が30未満は参考値として掲載

II. 調査活動

2. 次世代の北方領土返還要求運動参加についての郵送調査

⑤ 領土問題に関する活動が、社会活動に含まれると思う理由

領土問題に関する活動が、社会問題に含まれるとした回答した人では、国民一人ひとりが自覚をもって取り組むものを社会活動であると認識している人が多い。また、国単位の問題として領土問題をとらえ、領土問題を社会活動だとしている意見が上位を占める。

含まない理由としては「政治色が強いから」が多く、政治問題と社会活動を切り離して考えているようだ。

Q24SQ1. 上記のQ24において、あなたが、そのようにお答えになった理由を以下の空欄にご記入ください。

【含まれるとした回答】

	(N)			
	N	20代	30代	40代
合計	1592	454	606	532
国民全体の問題だから	152	52	51	49
社会問題だから	120	40	45	35
国際社会・世界での問題だから	71	26	16	29
国に利益のあるものだから	62	20	22	20
国全体の問題だから	59	17	27	15
政治・経済の問題もあるから	58	23	26	9
自国の問題だから	54	17	21	16
日本の領土であるから	53	12	22	19
個人の問題ではないから	45	17	15	13
生活に關係・影響がある問題だから	45	10	20	15
国・社会にとって重要なから	42	13	14	15
日本国民としての義務だから	29	4	9	16
エネルギー・資源に関わるから	26	3	15	8
大きな問題・重要な問題だから	23	1	16	6
国家が関わっている・国の問題だから	20	5	13	2
ロシアとの交渉・有効材料だから	18	5	4	9
自分の生活とかけ離れている	16	5	10	1
国・社会への貢献できるから	15	8	3	4
環境・自然問題に関わるから	15	3	6	6
歴史的なことだから	14	0	7	7
日本のためだから	13	3	7	3
元島民・原住民のことを考えて	12	4	3	5
メディアで多く取り上げられているから	11	4	3	4
国の今後にとって重要なから	10	1	4	5
国・社会で最も重要なものが領土だから	10	0	4	6
国同士の問題だから	7	2	2	3
日本の権利を取り戻すため	4	3	0	1
領土と社会は大きな関係があるから	4	1	3	0
国防にとって領土は重要なから	4	0	1	3
領土は国の構成要素のひとつだから	3	1	1	1
日本社会・安全を守るため	2	2	0	0
地域に密接な問題だから	2	1	1	0
官民一体となった活動が必要だから	2	0	0	2
社会に浸透すべきだから	2	0	0	2
身近に感じているから	1	1	0	0
社会的に関心が高いから	1	1	0	0
日本社会に必要だから	1	1	0	0
地域性が限られるから	1	1	0	0
解決すべき問題だから	1	0	0	1
その他	564	147	215	202

【含まないとした回答】

	(N)			
	N	20代	30代	40代
合計	486	117	175	194
政治色が強いから	129	30	46	53
身近な問題ではないから	31	2	19	10
自分にあまり関係がないから	14	5	3	6
国の問題だから	12	1	5	6
活動しても解決につながらないから	11	0	6	5
国同士の問題だから	9	2	0	7
身近な活動を「社会活動」と考えるから	7	0	1	6
社会問題とは捉えられないから	5	1	2	2
社会問題ではないと感じるから	5	1	0	4
貢献度を実感しづらいから	4	1	0	3
解決が難しいから	3	1	2	0
身近な問題と思っているから	3	1	2	0
誰でも参加できるものではないので	3	1	1	1
国のための問題だから	3	0	3	0
外交でしか解決しないから	2	2	0	0
目的が不明	2	1	0	1
他の社会活動とは違う大きな問題	2	1	1	0
国の利害にかかわるから	2	0	0	2
領土問題に意味があると思えない	2	0	1	1
話題にあがらないから	2	0	2	0
社会ではなく国に訴える問題だから	1	1	0	0
個々で考えが異なる問題だから	1	1	0	0
国益に直結するから	1	1	0	0
必ずしも必要な問題ではないから	1	1	0	0
国民に意識が定着していないから	1	1	0	0
考えたことがない	1	0	1	0
利害関係で動いている人がいるから	1	0	0	1
問題についてよく知らない	1	0	1	0
日本人が住んでいないから	1	0	1	0
一部の人の問題だから	1	0	1	0
社会活動というほど認知されていない	1	0	0	1
その他	224	62	77	85